



～ 建設業の魅力発信 ～

大垣工高の学生を対象に『出前講座』を開催！

出前講座の講師を務める木曾川上流河川事務所の古賀さん

- 木曾川上流河川事務所工事安全推進協議会揖斐川第二出張所支部（会長：揖斐川第二出張所長）は7月14日（月）、岐阜県立大垣工業高等学校（大垣市南若森町）の進路学習を支援するため同校で出前講座を開催。建設工学科1年生40名が参加し、公務員と総合建設業の仕事の違いや、土木・建築業のそれぞれの仕事の流れ、これまで整備してきたインフラ施設などを紹介し、建設業の魅力について学びました。

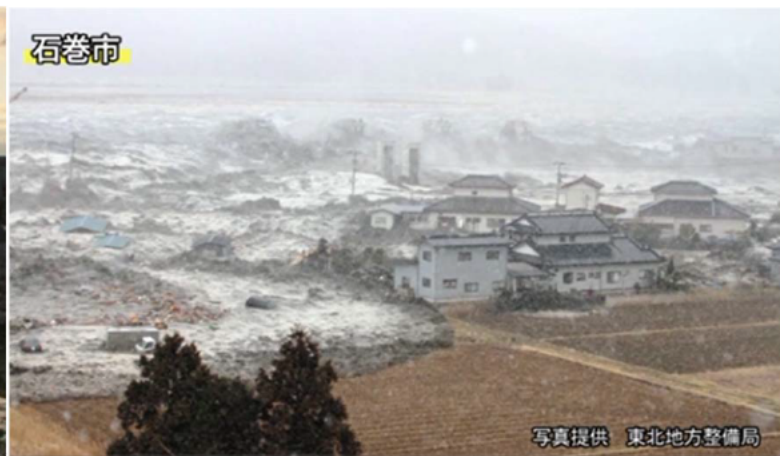
講師を務めた木曾川上流河川事務所の古賀博久さん（26才）は、「建設業の魅力は何と言っても、ものづくりの醍醐味を一番感じることができること」と語り、また、総合建設業で働く岐建（株）の山本唯盛さん（35才）は、「地図に残るスケールの大きな仕事ができる。人の役に立つ仕事に携わったという実感が湧き、とても感動する」と自身の経験談を交えて紹介しました。



真剣な表情で講義を聞く生徒たち



岐建（株）
管理部 大橋次長（左）
土木部 山本主任（下）



- その他、2011年3月に発生した東日本大震災における現場の土木技術者・従事者の活動を描いた記録映像を纏めたDVDを上映しました。生徒たちは、当時の状況がリアルに映し出された映像を見て、使命感と勇気を持って活動する土木技術者の姿を真剣に見入っていました。

おおたに けんしん

出前講座を受講した建設工学科の大谷健信君は「現場の人の生の声はとても参考となった。今後の進路選択に生かしていきたい」と感想を述べられました。



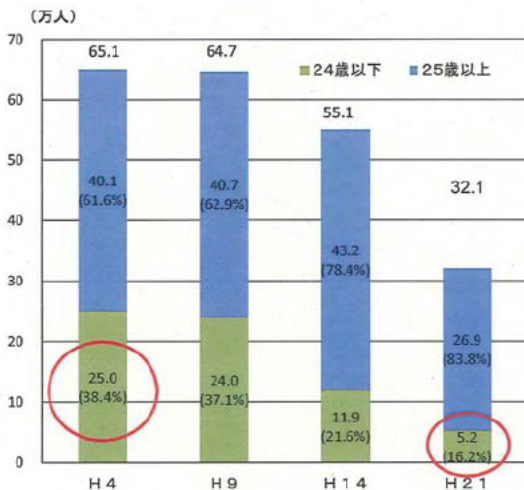
引き上げではなくて、進む方の判断をした

※DVD「東日本大震災、現場の戦い」をご覧になりたい方は、揖斐川第二出張所までお問合せ下さい。

■出張所コメント

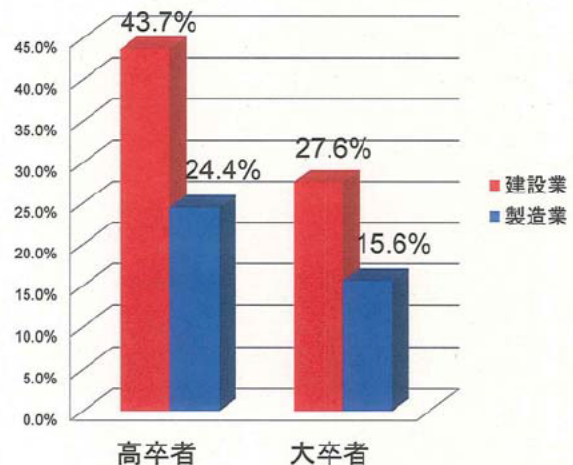
- 現在、建設業就業者は高齢化が進行し、若手入職者の減少と入職後の高い離職率が課題となっています。その理由は様々ですが、建設業全般の処遇の改善を含めた就労環境の整備を、今後、喫緊の課題として対策を講じていく必要があると認識しています。揖斐川第二出張所としては、希望と夢を持った若者に入職してもらえるよう、今回のような出前講座や現場見学会などを通して、積極的に働き掛けをしていきたいと考えています。

1. 入職者数の推移



資料：厚生労働省「雇用動向調査」

2. 就職後3年以内の離職率(H21.3卒業生)



出所：厚生労働省「新規学卒者の離職状況に関する資料」。「就業者数」は、新規学卒として雇用保険に加入した者